

科目名	スタイリストワークⅠ	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	前期
コース	トップスタイリストコース トップスタイリスト専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 30 % 実習 70 %
時間数	60	作成者	大橋マリ

【科目の到達目標】

高い考察力でプレゼンテーションが出来、また柔軟性とコミュニケーション力を養う。
さらに個性を磨き、活躍できるファッションスタイリストを目指す。

【科目の概要】

スタイリングショーを行うにあたり、コンセプト出し、リサーチ強化、スタイリング、モデルキャスティングなど、演出をトータルで行い、現場での実践力を身につける。

【授業計画】

90分/コマ

- | | |
|----------|------------------------|
| 1,2 | I スタイリングショー テーマプレゼン |
| 3,4 | I ラフプレゼンテーション |
| 5,6 | I スタイリングチェック① |
| 7,8 | I スタイリングチェック② |
| 9,10 | I 実物審査 |
| 11,12 | I スタイリングチェック③ |
| 13,14 | I 構成、演出（音響、照明） |
| 15,16,17 | I リハーサル |
| 18,19,20 | I スタイリングショー 本番 |
| 21,22 | II スタイリングコンテスト テーマプレゼン |
| 23,24 | II ラフプレゼンテーション |
| 25,26 | II スタイリングチェック① |
| 27,28 | II 構成、演出（音響、照明） |
| 29,30 | II スタイリングチェック③ |

【成績評価方法】

課題（作品のクオリティ）70% 提出物20% 授業態度10%

【教科書・参考書】

海外ファッション誌、ライフスタイル誌 カルチャー誌 洋装史写真集、世界の民俗衣装写真集
コレクション動画

【教材・教具】

筆記用具 スタイリスト道具

科目名	スタイリストワークⅡ	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	後期
コース	トップスタイリストコース トップスタイリスト専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 30 % 実習 70 %
時間数	60	作成者	大橋マリ

【授業の到達目標】

高い考察力でプレゼンテーションが出来、また柔軟性とコミュニケーション力を養う。
さらに個性を磨き、活躍できるファッションスタイリストを目指す。

【授業概要】

スタイリングショーを行うにあたり、コンセプト出し、リサーチ強化、スタイリング、モデルキャスティングなど、演出をトータルで行い、現場での実践力を身につける。

【授業計画】

90分/コマ

- | | |
|-------|---------------------------|
| 1,2 | Ⅱ 実物審査 |
| 3,4 | Ⅱ スタイリングチェック |
| 5,6 | Ⅱ プレリハーサル |
| 7,8 | Ⅱ リハーサル |
| 9,10 | Ⅱ スタイリングコンテスト 本番 |
| 11 | Ⅱ スタイリングコンテスト 考察 |
| 12,13 | Ⅲ 卒業スタイリングショー テーマプレゼン |
| 14,15 | Ⅲ ラフプレゼンテーション |
| 16,17 | Ⅲ スタイリングチェック① |
| 18,19 | Ⅲ スタイリングチェック②、キャスティング、構成 |
| 20,21 | Ⅲ 実物審査 |
| 22,23 | Ⅲ スタイリングチェック、構成、演出（音響、照明） |
| 24,25 | Ⅲ プレリハーサル |
| 26,27 | Ⅲ リハーサル |
| 28,29 | Ⅲ 卒業スタイリングショー 本番 |
| 30 | Ⅲ 卒業スタイリングショー 考察 |

【成績評価方法】

課題（作品のクオリティ）70% 提出物20% 授業態度10%

【教科書・参考書】

海外ファッション誌、ライフスタイル誌 カルチャー誌 洋装史写真集、世界の民俗衣装写真集
コレクション動画

【教材・教具】

筆記用具 スタイリスト道具

科目名	スタイリング演習Ⅳ	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	トップスタイリストコース トップスタイリスト専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 30 % 実習 70 %
時間数	120	作成者	森本真生

【科目の到達目標】

テーマ設定からスタイリング構築までを一貫して行い、意図を持った提案力を身につけるとともに、実践的な撮影経験を通して現場で求められる判断力を対応力を養う。

【授業概要】

テーマ設定からスタイリング、撮影、振り返りまでを一貫して行い、フィードバックを通じて提案力を高める。実践的な撮影(PSC)を通して、現場対応力と判断力の修得を目指す。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期	
1,2	導入・スタイリスト概論、実技演習	39,40	スタイリングチェック ★PSC
3,4	テーマ提案、ラフ・スタイリング考案	41,42	スタイリングチェック ★PSC
5,6	ラフプレゼン・スタイリング考案	43,44	テーマ提案、ラフ・スタイリング考案
7,8	スタイリング考案・チェック	45,46	ラフプレゼン・スタイリング考案
9,10	スタイリングチェック・撮影準備	47,48	スタイリング考案・チェック
11,12	撮影打ち合わせ	49,50	スタイリングチェック・撮影準備
13,14	スタイリングチェック・撮影準備	51,52	撮影打ち合わせ
15,16,17,18,19	写専コラボ 撮影日	53,54	スタイリングチェック・撮影準備
20,21	テーマ提案、ラフ・スタイリング考案	55,56,57,58,59	写専コラボ 撮影日
22,23	ラフプレゼン・スタイリング考案	60	一年間の総評
24,25	スタイリング考案・チェック		
26,27	スタイリングチェック・撮影準備		
28,29	撮影打ち合わせ		
30,31	スタイリングチェック・撮影準備		
32,33,34,35,36	写専コラボ 撮影日		
37,38	実技演習		

提出課題の評価 60% プレゼンテーション 20% 授業態度 20%
授業態度(撮影現場での動きなども含む)

【教科書・参考書】

【教材・教具】

科目名	スタイリングデザインⅢ	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	トップスタイリストコース トップスタイリスト専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	60	作成者	金児優

【科目の到達目標】

受け手にとっての価値の方向性を考えた上でのコンセプト出しができ、コンセプトに基づいたスタイリングデザインを考案することができる。また、ファッションスタイリングデザインだけではなく、演出デザインなど広義にスタイリングデザインを捉えることができる。

【科目の概要】

本科目では、コンセプト出しの方法から、コンセプトに基づいたスタイリングデザイン方法について学ぶ。企画したコンセプトとスタイリングデザインは、学内イベントでスタイリングショー(コンテスト)として発表する。また、スタイリングデザインを広義にとらえ、スタイリングだけに留まらず、メイクデザイン、演出デザインなど幅広いスタイリングデザインについて、実践的且つ主体的に学び、自己表現としてのスタイリングデザインを確立させる。

【授業計画】

前期 90分/コマ		後期	
1	プレタ展 イン트로ダクション	18	上安祭 演出デザインⅡ
2・3	プレタ展 コンセプト考案Ⅰ	19	上安祭 演出デザインⅢ
4	プレタ展 コンセプトプレゼンテーション	20	上安祭 演出デザインⅣ
5	プレタ展 スタイリング考案Ⅰ	21	卒業ショー イン트로ダクション
6	プレタ展 スタイリング考案Ⅱ	22	卒業ショー コンセプト考案Ⅰ
7	プレタ展 演出デザインⅠ	23	卒業ショー コンセプト考案Ⅱ
8	プレタ展 演出デザインⅡ	24	卒業ショー コンセプトプレゼンテーション
9	プレタ展 演出デザインⅢ	25	卒業ショー スタイリング考案Ⅰ
10	上安祭 イン트로ダクション	26	卒業ショー スタイリング考案Ⅱ
11	上安祭 コンセプト考案Ⅰ	27	卒業ショー スタイリング考案Ⅲ
12	上安祭 コンセプト考案Ⅱ	28	卒業ショー 演出デザインⅠ
13	上安祭 コンセプトプレゼンテーション	29	卒業ショー 演出デザインⅡ
14	上安祭 スタイリング考案Ⅰ	30	まとめ
15	上安祭 スタイリング考案Ⅱ		
16	上安祭 スタイリング考案Ⅲ		
17	上安祭 演出デザインⅠ		

【成績評価方法】

課題点 60% プレゼンテーション30% 授業態度 10%

以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する。

【教科書・参考書】

【教材・教具】

教科名	スタイリング造形Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	トップスタイリストコース トップスタイリスト専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	90	作成者	金児優

【授業の到達目標】

スタイリストに必要な縫製技術と知識を、実物作成を通して修得する。

【授業概要】

スタイリストに必要な縫製技術・補正技術の基本を学ぶ。
また、イメージに合うスタイリングを作る為のリメイク・小物作りをファッションショーや撮影準備を通し修得。
様々なオファーに対応できるスタイリング製作能力を修得。

【授業計画】

90分/コマ	前期	後期
1・2	導入/採寸	27・28 上安祭衣装製作
3・4	ワンピース製作/トレース	29・30 上安祭衣装製作
5・6	ワンピース製作/裁断	外国人モデル用 衣装補正
7・8	ワンピース製作/芯貼り・切り縫	外国人モデル用 衣装補正
9・10	ワンピース製作/縫製	33・34 ワンピース製作/縫製
11・12	ワンピース製作/縫製	35・36 ワンピース製作/縫製
13・14	プレタ展用衣装製作	37・38 ワンピース製作/縫製
15・16	プレタ展用衣装製作	39・40 ワンピースプレゼンテーション
17・18	ワンピース製作/縫製	41 終業テスト
19・20	ワンピース製作/縫製	42・43 卒業スタイリングショー衣装製作
21・22	ワンピース製作/縫製	44・45 卒業スタイリングショー衣装製作
23・24	上安祭衣装製作	
25・26	前期テスト	

【成績評価方法】

課題作品の評価 60% 期末試験 30% 授業態度 10%

以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する。

【教科書・参考書】

上田安子「立体式洋裁」服飾手帖社 改訂版
「ワンピース」上田安子服飾専門学校 最新版

【教材・教具】

ミシンなど縫製機器、洋裁道具一式・製図道具一式、ショー衣装、生地(指定)、裏地、ミシン糸、手縫い糸
スプリングホック、ファスナー、ストレートテープ、接着芯

科目名	メイクアップ&ヘアスタイリングⅡ	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	トップスタイリストコース トップスタイリスト専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	120	作成者	西保幸子

【科目の到達目標】

ショーや撮影映えするヘアメイクテクニックを中心にクリエイティブなヘアメイクテクニックの技術修得。

【科目の概要】

毎シーズン移り変わるトレンドを意識し、ファッションとヘアメイクの関連性を意識し、どのようなファッションにも合わせたヘアメイクを施せる技術とセンスを修得する。

【授業計画】

前期 90分/コマ		後期	
1.2	自己紹介&技術チェック	31.32	上安祭レッスン
3.4	グラデーションメイク	33.34	上安祭リハーサル
5.6	針金を使ったクリエイティブヘア	35.36	上安祭本番&撮影 ★テスト
7.8	ネジピンで作るクリエイティブヘア	37.38	逆毛練習
9.10	ウェットフィンガーウェーブ	39.4	クリエイティブヘア
11.12	ドライフィンガーウェーブ	41.42	クリエイティブメイク
13.14	プレタ展レッスン	43.44	ペイントメイク
15.16	プレタ展レッスン	45.46	写専コラボ撮影ヘアメイク
17.18	プレタ展リハーサル	47.48	クリエイティブヘア
19.20	プレタ展本番&撮影	49.50	スタイリングショーのヘアメイク提案
21.22	期末テスト	51.52	スタイリングショー練習
23.24	写専コラボ撮影ヘアメイク	53.54	スタイリングショー練習
25.26	コーンロー作り方	55.56	スタイリングショー練習
27.28	白塗りメイク	57.58	スタイリングショーリハーサル
29.30	上安祭レッスン	59.60	スタイリングショー本番

【成績評価方法】

提出課題の評価 60% 期末試験 30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

科目名	スタイリングフォト	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	前期
コース	トップスタイリストコース トップスタイリスト専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	28	作成者	近藤織弓

【科目の到達目標】

「肯定、信頼、問い」をコンセプトとし、スタイリングを通して自己に向き合いながら今後の表現方法を追求する。

【科目の概要】

基本的な写真の知識を得て、表現方法をチームで作成する。

課題に合わせたスタイリングをし、写真を通して表現する。

写真にふれる。スタイリング作品を写真や動画を使ってプレゼンテーションし、今後の課題、表現方法を追及する。

【授業計画】 90分/コマ

- 1 講師の自己紹介、写真にふれる、チーム決め
- 2 課題1に合わせたスタイリングをし、撮影する(課題1は撮影しにくい素材を使用)
- 3 課題1 + adobe expressの使い方(写真の基礎)
- 4 課題1 + 撮影小道具の名称など現場での用語、対応(写真の基礎)
- 5 課題2(課題2は写真集をつくる) + 構図、ライティング(写真撮影の基礎)
- 6 課題2
- 7 課題2
- 8 制作課題の決定
- 9 課題3(課題3はテーマに沿ってスタイリングし撮影する)
- 10 課題3
- 11 課題3
- 12 課題3
- 13 課題3
- 14 課題発表と投票

【成績評価方法】

提出物 60% 期末試験 30% 授業態度 10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

カメラ、スマートフォン、自作座標

科目名	服飾素材論Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	後期
コース	トップスタイリストコース トップスタイリスト専攻 スタイリストコース スタイリスト専攻/パーソナルスタイリスト専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 100 %
時間数	30	作成者	河本 育子
【科目の到達目標】 素材の特性、機能性を理解し、商品に適した取扱いが出来るようになる。また、素材特性を踏まえたスタイリングが出来るようになることを目標とする。			
【科目の概要】 機能性商品など、市場には様々な特徴のある商品が並んでいる。繊維ごとの特性を実験や演習を交えながら解説し、そのメンテナンスに至るまで修得する。			
【授業計画】 90分/コマ		前期	後期
		1	オリエンテーション
		2	家庭用品品質表示法 洗濯表示
		3	アパレル商品の取り扱いについて
		4	天然繊維
		5	化学繊維（1）再生繊維・半合成繊維
		6	化学繊維（2）合成繊維 ナイロン・アクリル
		7	化学繊維（3）合成繊維 ポリエステル・ポリウレタン
		8	合成皮革・人工皮革
		9	衣服に求められる機能と着心地
		10	糸の種類
		11	織物の組織とその特徴
		12	編物の組織とその特徴
		13	加工・染色・トラブル
		14	総復習
		15	修業テスト
【成績評価方法】 提出課題の評価 60% 期末試験 30% 授業態度 10%			
【教科書・参考書】 一見 輝彦「わかりやすいアパレル素材の知識」ファッション教育社 「生地の事典」株式会社みずしま加工			
【教材・教具】 筆記用具			

科目名	ファッション史Ⅱ	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	後期
コース	トップスタイリストコース トップスタイリスト専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 90 % 実習 10 %
時間数	30	作成者	塚井良太
【科目の到達目標】 ・時代背景や世界情勢によって影響を受け変化するトレンドの流れを理解する。 ・時代によって生み出された技法やシルエット、ディテールの変遷を学び、服飾デザインの基礎知識を習得する。			
【科目の概要】 服飾の起源から現代にまで繋がる服飾デザインの変換を図版、絵画、写真、映画などの ヴィジュアル資料から学ぶ。			
90分/コマ		前期	後期
1 ガイダンス 【導入】現代の情勢と服飾トレンドの変化			
2 古代ローマ～ルネサンス			
3 ルネサンスと衣服			
4 エリザベス1世の誕生 服飾トレンドの認知			
5 マリーアントワネット：革命と失脚			
6 復習/まとめ			
7 復習/発表			
8 19世紀ナポレオンとドレススタイルの変化			
9 オートクチュールの誕生 ベルエポックとレ・ザネ・フィル			
10 世界恐慌とファッションの復興			
11 プレゼン作成①			
12 プレゼン作成②			
13 プレゼンテーション/課題作成			
14 復習/まとめ			
15 テスト			
【成績評価方法】 課題作品評価60% 期末試験・小テスト30% 平常点10%			
【教科書・参考書】 教科書「西洋服飾史」			
【教材・教具】			

科目名	イングリッシュコミュニケーションⅡ	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	トップスタイリストコース トップスタイリスト専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義20 % 実習80 %
時間数	60	作成者	HWANG Ae Fa

【科目の到達目標】

ビジネスに求められる英語でのコミュニケーション能力を養い、幅広い対応力と実践力を身につける。
様々な状況において英語を使うことを恐れない自信をつける。

【科目の概要】

前期は「使えるフレーズ」を習得し、外国人とのコミュニケーションができるよう実習及び研修に備える。後期は「読む・聞く・話す・書く」全般を学ぶことでプレゼンテーションやビジネスシーンで使う実践的な対応能力を養う。

【授業計画】

90分/コマ		前期	後期
1	Introduction		16 Presentation / Research
2	Presentaion : Let's talk about Japan		17 Presentation / Preparation
3	Describing Fashion 1 : Vocabulary of items		18 Presentation
4	Describing Fashion 2 : How to wear the clothes		19 Speech : Report of the oversea training
5	Describing Fashion 3 : How to explain the outfit		20 Watching a movie
6	Describing Fashion 4 : How to explain your work		21 Understanding the movie
7	Sekkyaku English 1		22 Business English 2 : Introduction a colleague
8	Sekkyaku English 2 : Role-Play		23 Business English 3 : Offering to help & apologizing
9	Traveling English 1 : Airport & Airplane		24 Business English 4 : Taking telephone message
10	Traveling English 2 : Shopping		25 Business English 5 : Email
11	Traveling English 3 : Restaurant		26 Business English 1 : Purchase Order
12	Traveling English 4 : Guidance		27 Review / Test
13	Traveling English 5 : Getting Help for medical problem		28 Presentation / Research
14	Traveling English 6 : Reporting lost property		29 Presentation / Preparation
15	Debate		30 Presentation

【成績評価方法】

提出物40% 小テスト20% 期末テスト30%(筆記・英会話) 授業態度10%

【教科書・参考書】

プリントを配布 Oxford Passport 1 & 2

【教材・教具】

DVDs and player, PC, CD player, Dictionary (Smartphone Application), Magazines

科目名	トレーニングタイム	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	通年
コース	トップスタイリストコース トップスタイリスト専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 20 % 実習 80 %
時間数	92	作成者	塩田千織

【科目の到達目標】

自己分析を通じて自身の強みや価値観を明確化し、将来を見据えたキャリアデザインを自律的に構築できる。その上で、スタイリストとしての専門性を言語化・視覚化し、戦略的なセルフプロモーションを実践する。また、産学官連携等の外部活動では、主体的な協働を通じて現場の課題を発見・改善できる能力を修得する。

【科目の概要】

スタイリストアシスタントとしての就職を見据えた自己分析を行い、自身の強みを戦略的に発信するためのセルフプロモーション手法を修得する。また、海外研修におけるセルフプロデュースの実践に向けた事前学習として、作品プレゼンテーションの準備に加え、訪問国であるオーストラリアのマーケット、文化、ファッション特性を深く理解する。これらを通じて、現地での活動を最大化し、国際的な視点を持ったキャリア形成を目指す。

90分/コマ	前期	後期
1・2	オリエンテーション 就職活動と自己分析Ⅰ	31・32 メルボルン 都市探求Ⅰ 〃
3・4	自己分析Ⅱ 長所・短所の言語化 自己分析Ⅲ 価値観の言語化	33・34 海外研修用事前課題製作 〃
5・6	自己分析Ⅳ ヴィジュアル自己表現 自己紹介資料作成(日本語/英語)	35・36 海外研修最終説明会 〃
7・8	自己PRと職業観 〃	37・38 資料作成Ⅰ 海外研修報告 〃
9・10	IDスタイリングⅠ コンセプト探求 〃	39・40 資料作成Ⅱ セルフプロモーション 〃
11・12	IDスタイリングⅡ コンセプトの表現 〃	41・42 プレプレゼンテーション 〃
13・14	IDスタイリングⅢ プレゼンテーション 〃	43 プレゼンテーション会 44 キャリアプランⅠ 45 キャリアプランⅡ
15・16	海外研修の概要 プレプレゼンテーション	
17・18	IDスタイリングⅣ スタイリングラフ作成 〃	
19・20	オンラインMT用資料作成 〃	
21・22	提携校とのオンラインMT準備 提携校とのオンラインMT実施	
23・24	海外研修説明会 オーストラリア歴史 文化探求Ⅰ	
25・26	オーストラリア歴史 文化探求Ⅱ 〃	
27・28	行程表作成 〃	
29・30	オーストラリア アート探求 〃	

【成績評価方法】

課題評価60% プレゼンテーション30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

【教材・教具】

科目名	きものコーディネーション	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	後期
コース	トップスタイリストコース トップスタイリスト専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 10 % 実技 90 %
時間数	28	作成者	樂愛実

【科目の到達目標】

スタイリストとして、着物の名前、種類と季節、TPOに応じたルールを学び、帯と着物の格を合わせる知識を知る。基本的な着物の着付けと帯結び、畳み方を修得し、オケーションに合ったコーディネートを提案できる基礎知識を身につける。

【科目の概要】

講義と実技により、着物の着付けと帯結びを修得し、スタイリングやコーディネートを実践する

【授業計画】

90分/コマ

- 1.2 授業概要と着物の基礎理解
- 3.4 着物の畳み方と自装基礎
- 5.6 補正方法と帯結び基礎
- 7.8 自装の基本手順
- 9.1 自装技術の向上
- 11.12 他装の基礎
- 13.14 総合実習と修業テスト

【成績評価方法】

課題、実践評価 60% テスト 30% 授業態度10%

【教科書・参考書】

必要に応じてプリント配布

【教材・教具】

筆記用具、浴衣、浴衣帯(半幅帯)、着物、名古屋帯、肌襦袢、裾除け、長襦袢、着付け小物一式、補正用タオル

科目名	海外研修	整理番号	
学科	ファッションビジネス学科	期	後期
コース	トップスタイリストコース トップスタイリスト専攻		昼間
学年	2年	授業形態	講義 10 % 実習 90 %
時間数	60	作成者	塩田千織

【科目の到達目標】

オーストラリア・メルボルンにて国際的なフォトグラファー教育を行うPhotography Studies College(PSC)で研修を行い、海外作品の表現方法やグローバルな感性の修得を目指す。

【科目の概要】

オーストラリア・メルボルンにて国際的なフォトグラファー教育を行うPhotography Studies College(PSC)で研修を行う。作品のプレゼンテーションや撮影でのコミュニケーションを英語で行うことで語学力の向上を図るとともに、現地視察や海外での撮影に必要な技術や表現方法を学ぶことで、文化的価値観や国際感覚を養う。また、メルボルンファッションウィークに参加し、国際的なファッション感覚を養う。

【授業計画】

90分/コマ

●メルボルンについての事前リサーチ

●6泊8日の研修参加

- ・PSCにて授業受講(撮影での表現方法、ロケーションやポージングの選定方法など)
- ・PSC教員/学生へ、日本で製作した作品についてのプレゼンテーション
- ・PSC教員からアドバイス、PSC学生からロケーションやポージングの提案
- ・モデルフィッティング、ヘアメイクテスト
- ・ロケーション視察、選定
- ・市内でロケーション撮影(本校学生:スタイリスト、PSC学生:カメラマン、モデル)
- ・PSC学生(カメラマン)と資料を作成し、作品プレゼンテーション

●メルボルンファッションウィーク参加

●ストリートリサーチ

●研修参加後のレポート、考察

【成績評価方法】

- ・授業態度10%
- ・課題作品の仕上がり評価(レポートを100点満点で採点し平均点で評価)60%
- ・理解力(修業テストプレゼン)30% 以上を指導要項の認定要項に基づいて総合的に評価する。

【教科書・参考書】

【教材・教具】